

令和5年度 林業普及週間現地情報(10/22～10/28)

森林管理課

木育キャラバン及び木育円卓会議 in 沖縄女子短期大学

10月28日(土)

県が令和5年1月に行った「ウッドスタート宣言」の具体的な取組として、今年度から「沖縄県ウッドスタート推進事業」を実施している。

取組の一環で、10月28日(土)に沖縄女子短期大学が実施する「子どもフェスタ」と共催し、同大学体育館にて「木育キャラバン(移動型おもちゃ美術館)」を開催した。

会場には4,000ピースを超えるリュウキュウマツの積木や木のたまごプールなど、おきなわの木を使ったおもちゃなど50種類を超える木製おもちゃが用意され、赤ちゃんも含めた多くの親子と一緒に遊ぶ姿で終日賑わっていた。

同会場内では、普及指導員が沖縄の森林・林業や木材利用に関する展示ブースを設置し、来場者に対して普及啓発を行った。ブースに立ち寄った方々からは、「木のたまご欲しい!」の声が最も多く、展示された木製たまごや什器を手に取り、「色がそれぞれ違っておもしろい!」「木目が美しい!」「おきなわの木製品欲しいけど、高いイメージ」など直接会話をしながら、おきなわの森林・林業や県産材の利用推進について普及啓発に取り組むことができた。

また、同日、同校内にて、県内の木育関係者を一堂に会した「木育円卓会議」も開催し、同大学の学生たちを含む参加者約50名が沖縄の木育活動の展望について意見を交わす場となった。

木育キャラバンは、12月9日・10日に首里城公園においても実施を予定しており、更に多くの県民の方々に、地元の木に触れ、遊びを通じて木に親しみを感じてもらい、木製品の良さや森林の循環利用に対する関心を深め、県産木材の利用推進につながるよう取り組んでいきたい。



(写真上：木育キャラバン会場の様子)



(写真上：普及啓発ブースの様子)



(写真左：木育円卓会議の様子)

(報告者：森林管理課 大城、桑江、石垣)